



HCL Volt MX

コードによる Foundry Integration サービスの呼び出しと コードによるフォーム間の ナビゲーション

Student Guide



HCL Software Academy for HCL Digital Solutions

Creating a new generation of experts

もくじ

コードによる Foundry Integration サービスの呼び出し.....	3
前提条件	3
コードで Foundry Integration サービスを呼び出す	3
Segment ウィジェットから選択データを読み込むコード	9
コードによるフォーム間のナビゲーション	10

コードによる Foundry Integration サービスの呼び出し

このレッスンでは、Foundry Integration サービスを呼び出すために Iris でコードを記述することを紹介します。このレッスンでは、以下について学習します。

- Foundry Integration サービスの呼び出しに使用される API
- コードによるフォーム間のナビゲーション

このドキュメントでは、このレッスンのハンズオン部分の詳細な手順を説明します。

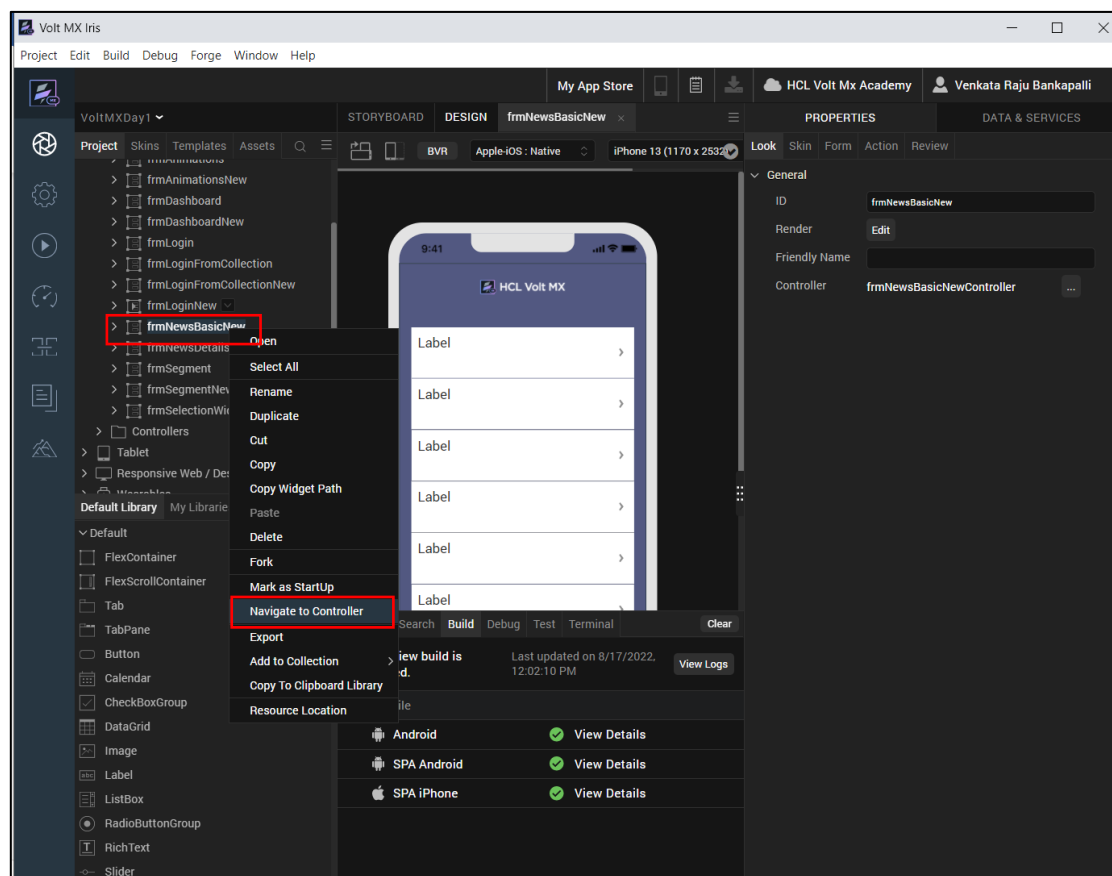
前提条件

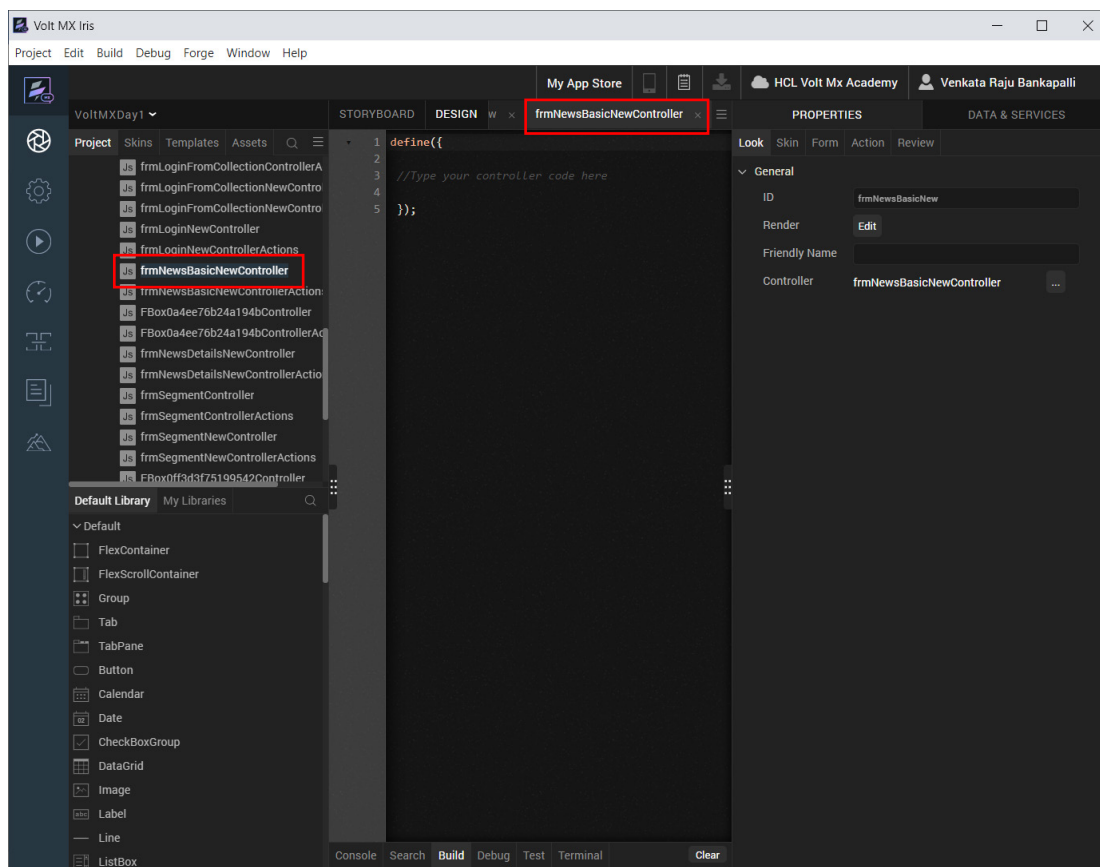
- 前のレッスンのハンズオンの手順を完了していること。

コードで Foundry Integration サービスを呼び出す

注意事項:

- 前のレッスンで作業していた Iris プロジェクトで、以下に説明する手順を引き続き実行します。
- フォーム **frmNewsBasicNew** を開きます。
- フォーム **frmNewsBasicNew** を右クリックし、**Navigate to Controller** オプションをクリックします。すると、このフォームに関連するフォームコントローラが開きます。





- 以下の3つの関数を追加して、統合サービスの起動、統合サービスからの成功レスポンスの処理、統合サービスからの失敗レスポンスの処理を行えるようにします。

```
/**
 * この関数は、統合サービス呼び出す役割を果たします。
 * この関数では、Foundry SDK の API を使って、Foundry で定義された統合サービスを Iris から呼び出す
 方法を探ります。
 */
invokeIntegrationService : function () {
    voltmx.print("Entering into invokeIntegrationService");

    var integrationServiceName = "NewYorkTimesNewsFeed";
    var integrationOperationName = "getNews";
    var requestForIntegrationService = {"newsType":"World"};
    var requestHeadersForIntegrationService = {};

    var sdkCurrentInstance = voltmx.sdk.getCurrentInstance();
    var integrationService = sdkCurrentInstance.getIntegrationService(integrationServiceName);
    integrationService.invokeOperation(integrationOperationName,

requestHeadersForIntegrationService,

requestForIntegrationService,

this.integrationSuccessResponseHandler.bind(this),

this.integrationFailureResponseHandler.bind(this));
```

```

    voltmx.print("Exiting out of invokeIntegrationService");
  },

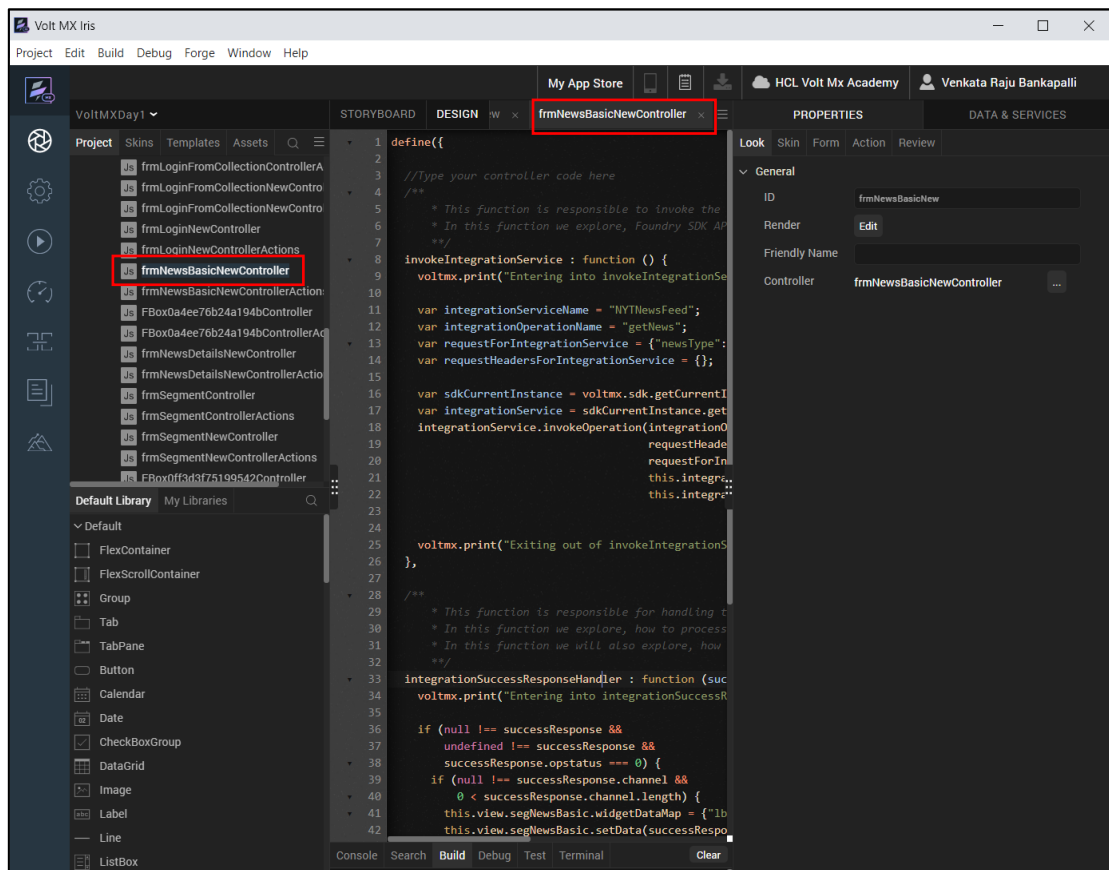
  /**
   * この関数は、Foundry 統合サービスからの成功レスポンスの処理を担当します。
   * この関数では、統合サービスからの成功レスポンスを処理する方法について説明します。
   * この関数では、Foundry 統合サービスからのレスポンスをセグメントウィジェットにマッピングする
   方法も見ていきます。
   */
  integrationSuccessResponseHandler : function (successResponse) {
    voltmx.print("Entering into integrationSuccessResponseHandler");

    if (null !== successResponse &&
        undefined !== successResponse &&
        successResponse.opstatus === 0) {
      if (null !== successResponse.channel &&
          0 < successResponse.channel.length) {
        this.view.segNewsBasic.widgetDataMap = {"lblTitle":"title"};
        this.view.segNewsBasic.setData(successResponse.channel);
      } else {
        voltmx.print("No news articles found");
      }
    } else {
      voltmx.print("Integration service call failure: Opstatus code: "+ successResponse.opstatus);
    }

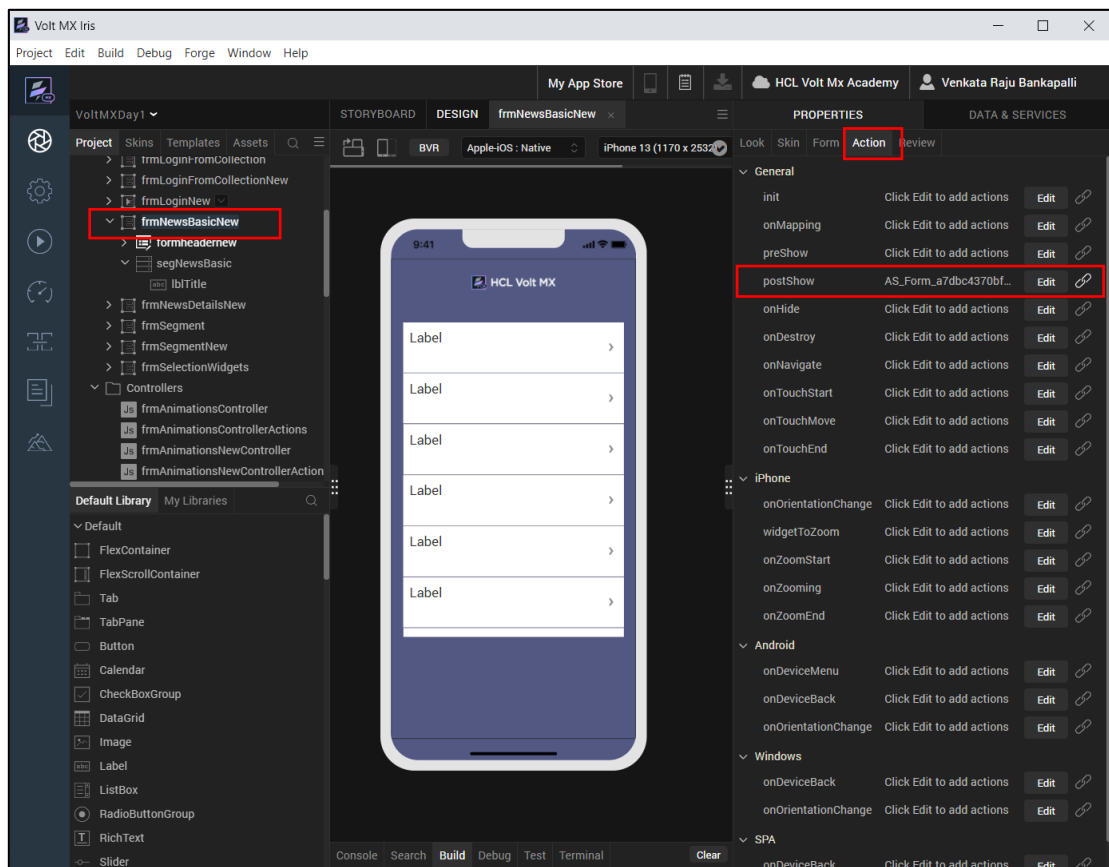
    voltmx.print("Exiting out of integrationSuccessResponseHandler");
  },

  /**
   * この関数では、Foundry インテグレーションサービスからの失敗のレスポンスを処理します。
   */
  integrationFailureResponseHandler : function (failureResponse) {
    voltmx.print("Entering into integrationFailureResponseHandler");
    alert("Failure in fetching news: "+JSON.stringify(failureResponse));
    voltmx.print("Exiting out of integrationFailureResponseHandler");
  },

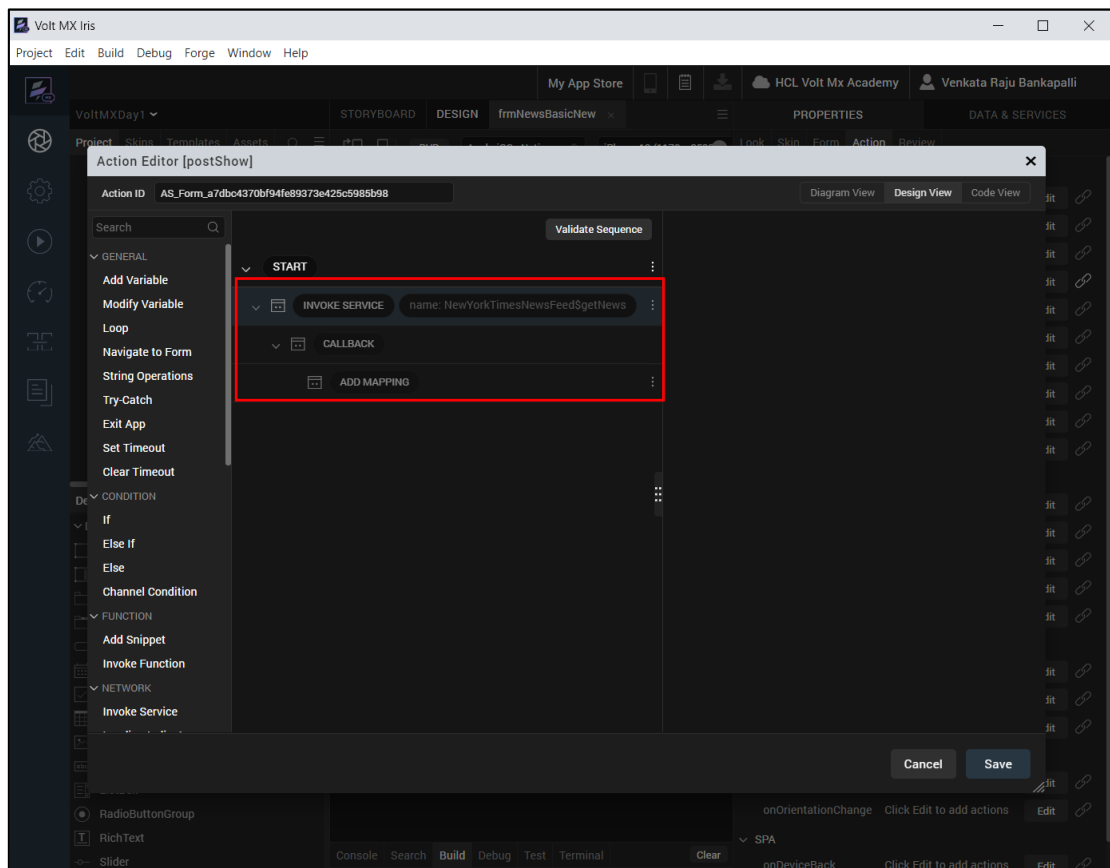
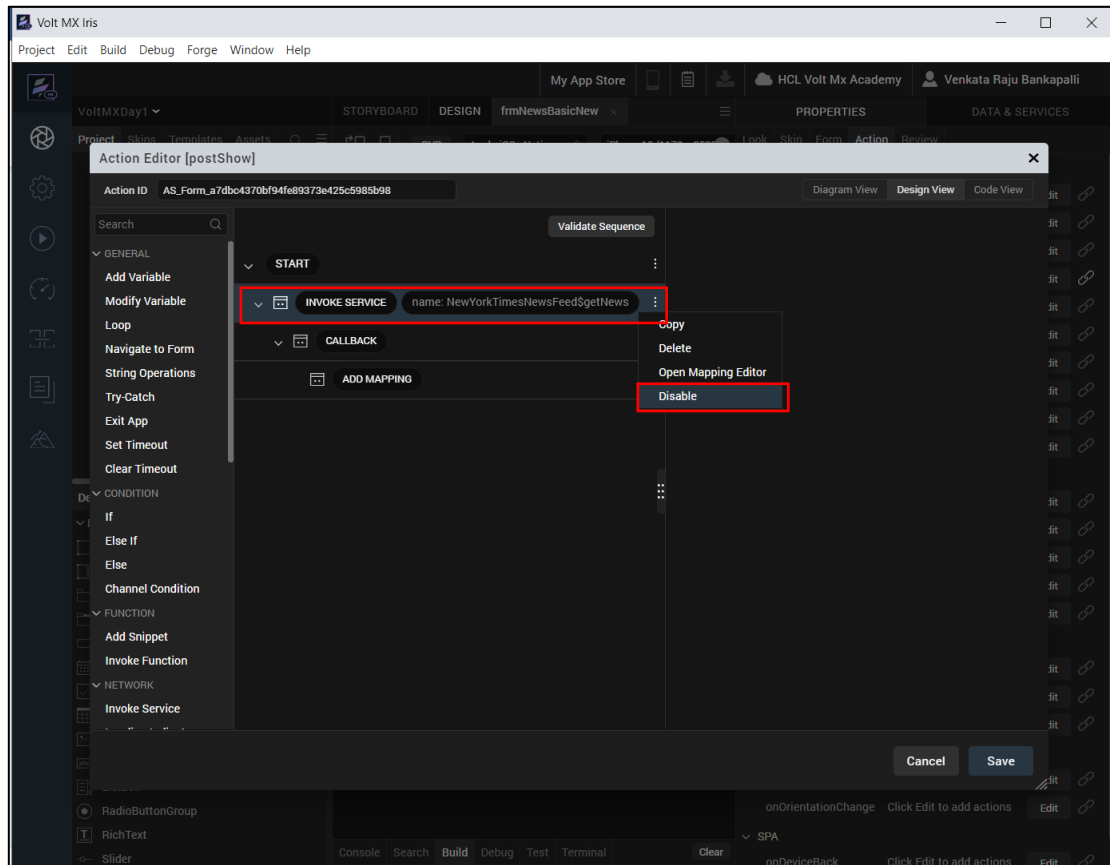
```



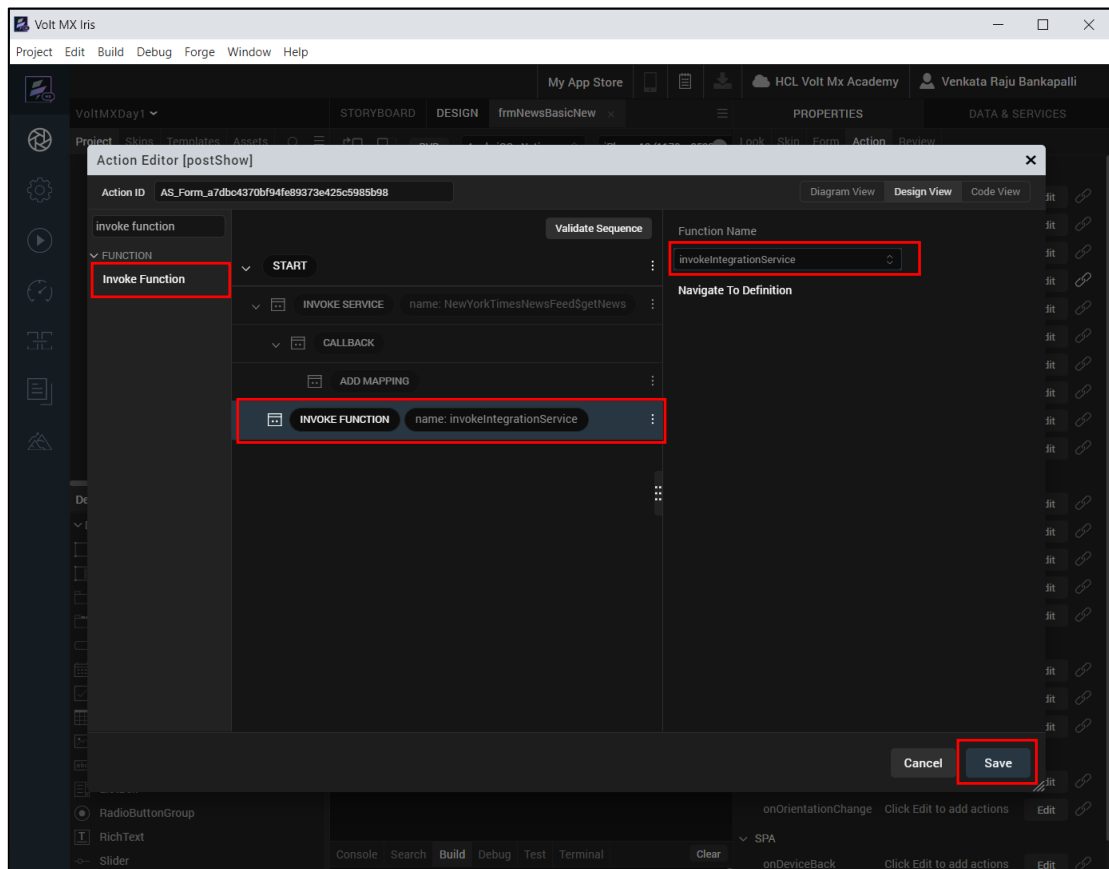
- フォーム **frmNewsBasicNew** を選択します。Properties > Action > postShow > Edit で、postShow イベント **frmNewsBasicNew** を設定します。



- Action エディタで Design ビュー に切り替え、既存のアクションシーケンスを無効化します。



- **Invoke Function** アクションを検索し、このアクションを選択します。
- アクションシーケンスに追加されたアクションが表示されたら、右側にあるドロップダウンから関数 **invokeIntegrationService** を選択します。
- **Save** をクリックし、アクションシーケンスを保存します。



Segment ウィジェットから選択データを読み込むコード

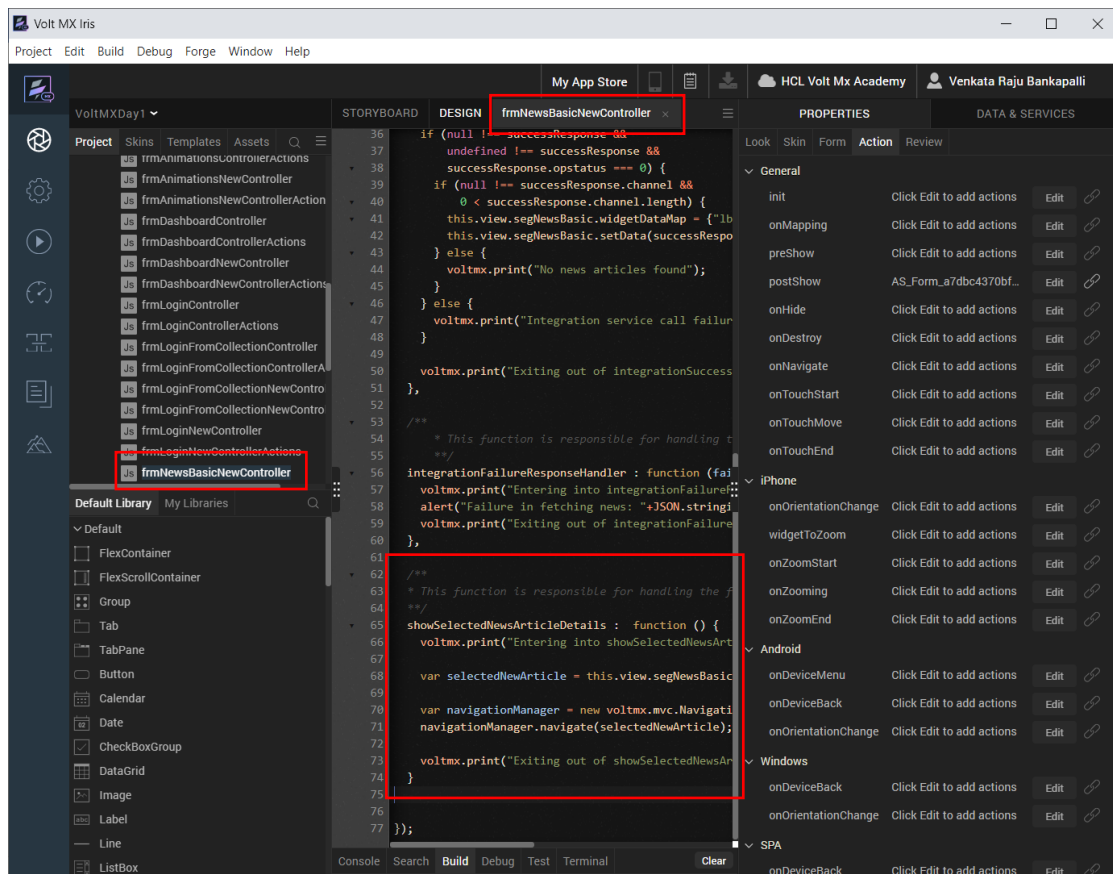
- セグメントから選択されたデータを詳細画面へ渡すために、以下の関数を追加します。

```
/**
 * この関数は、Foundry 統合サービスからの障害応答を処理する役割を担います。
 */
showSelectedNewsArticleDetails : function () {
    voltmx.print("Entering into showSelectedNewsArticleDetails");

    var selectedNewArticle = this.view.segNewsBasic.selectedRowItems;

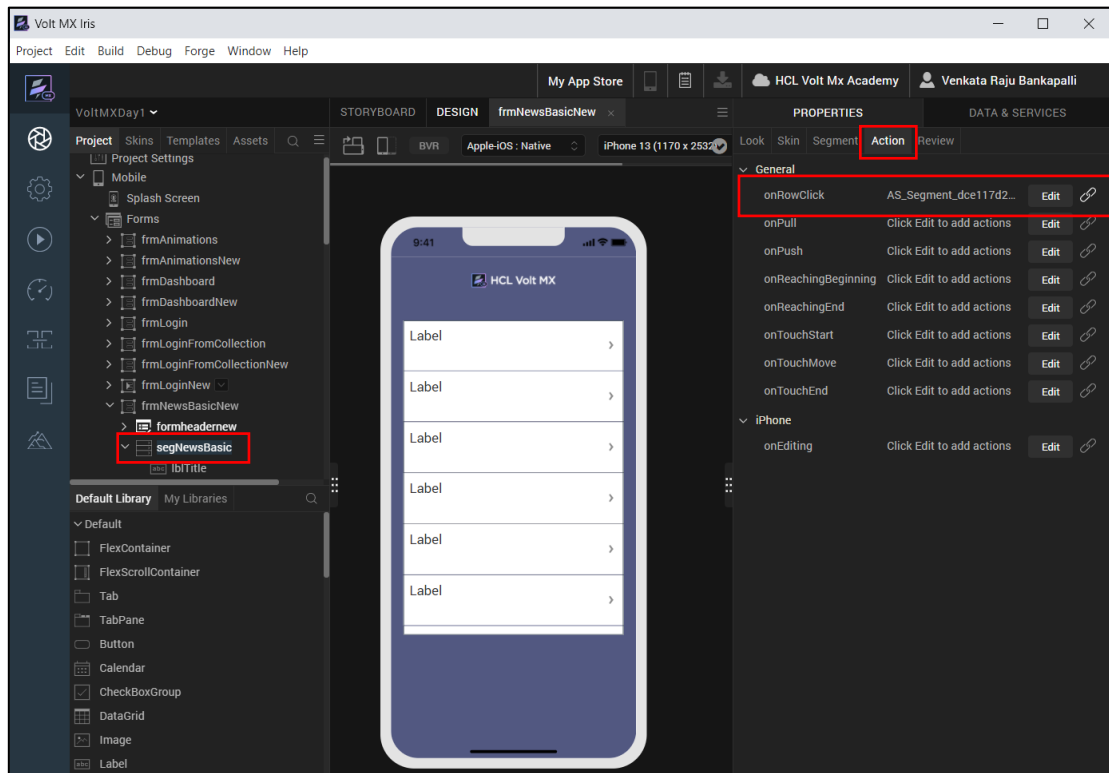
    var navigationManager = new voltmx.mvc.Navigation("frmNewsDetailsNew");
    navigationManager.navigate(selectedNewArticle);

    voltmx.print("Exiting out of showSelectedNewsArticleDetails");
}
```

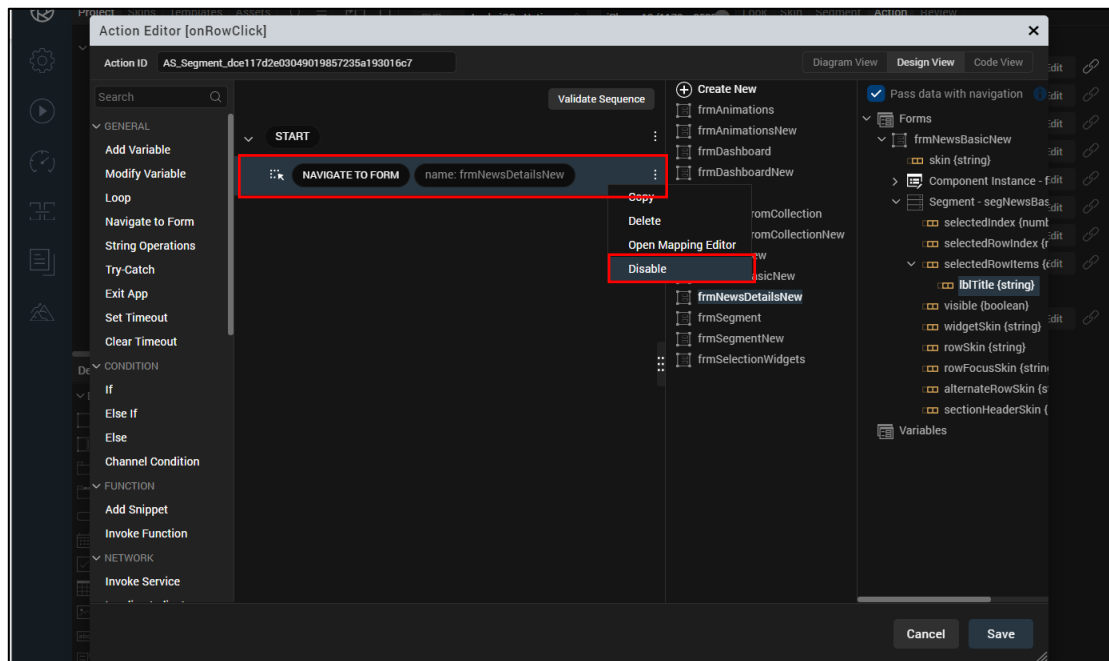


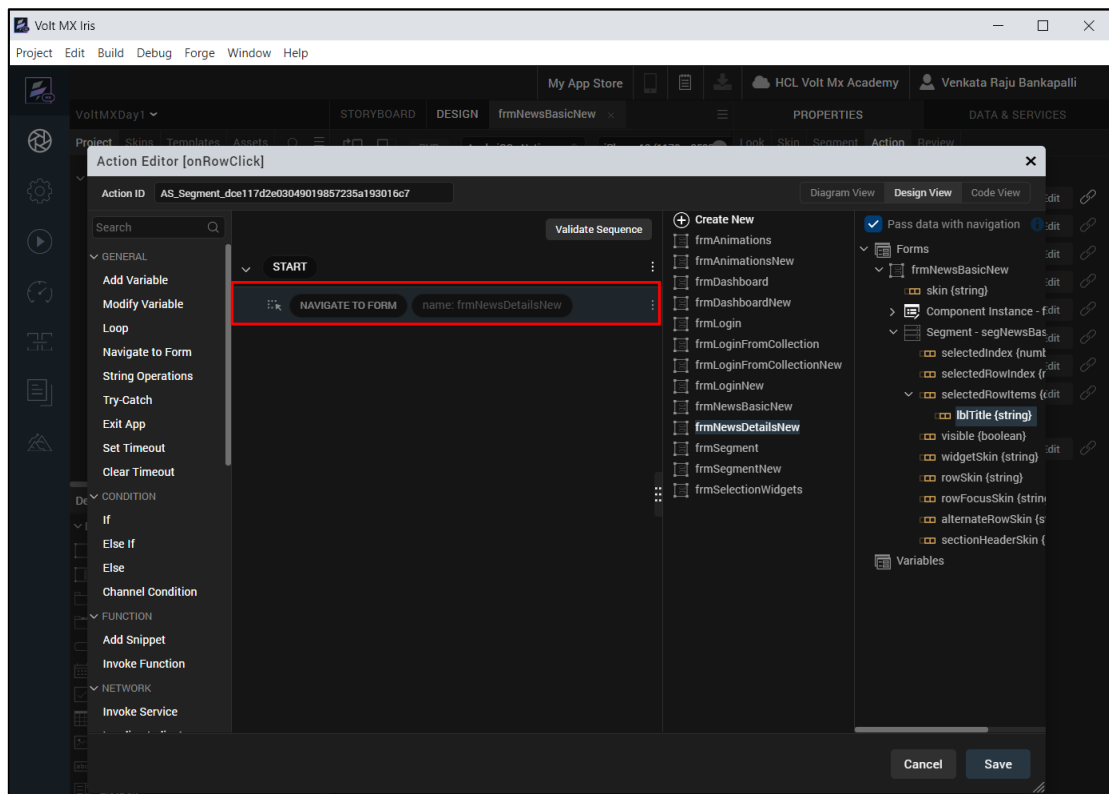
コードによるフォーム間のナビゲーション

- **frmNewsBasicNew** フォームを選択します。
- **segNewsBasic** ウィジェットを選択します。
- セグメント **segNewsBasic** の **onRowClick** イベントを設定します。

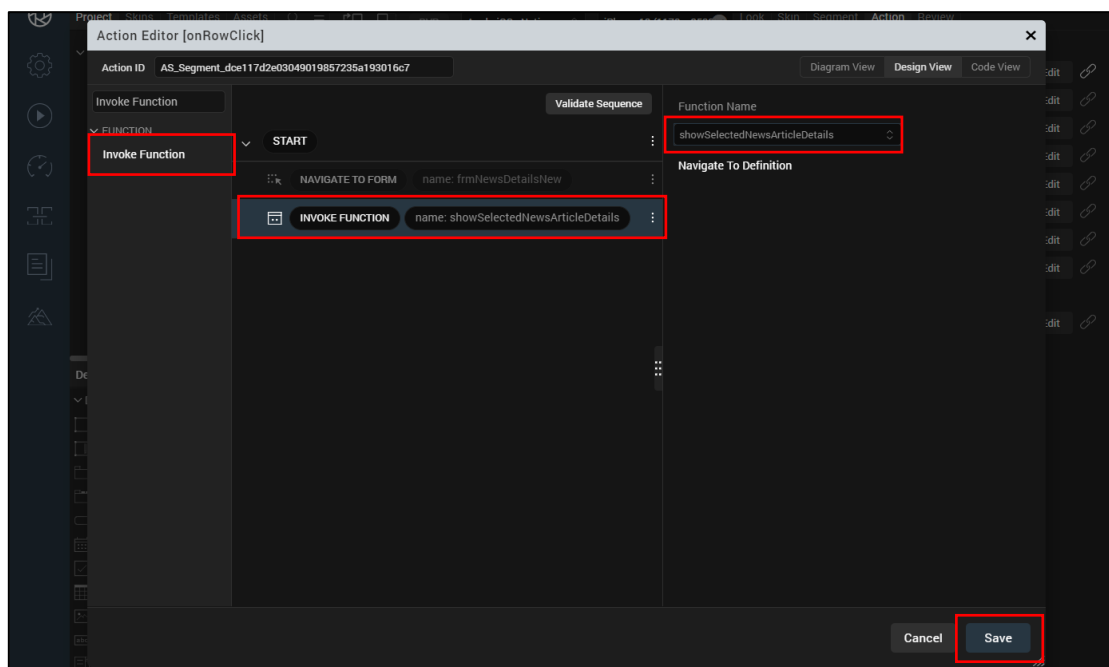


- アクションシーケンスで、既存のアクションシーケンスを無効化します。

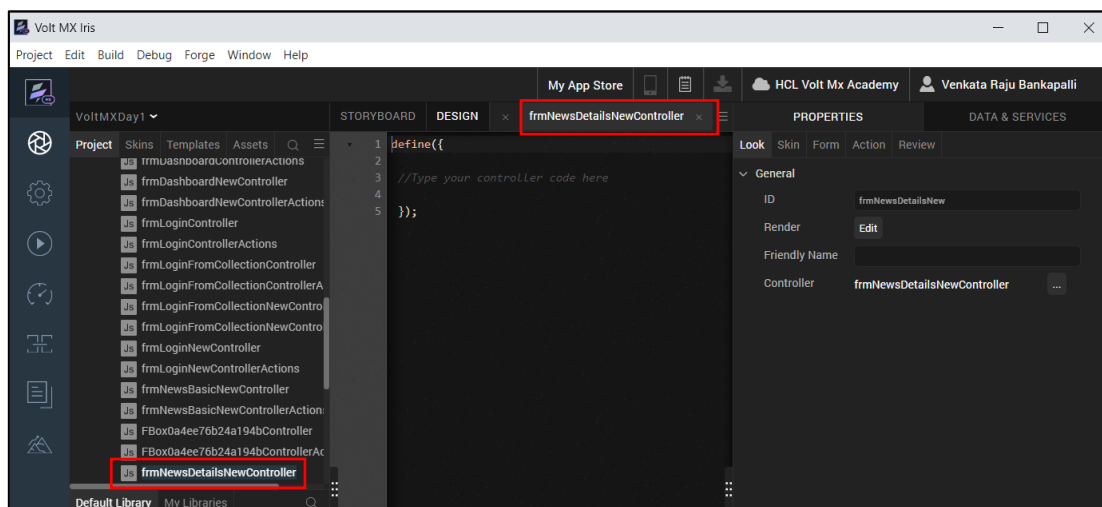
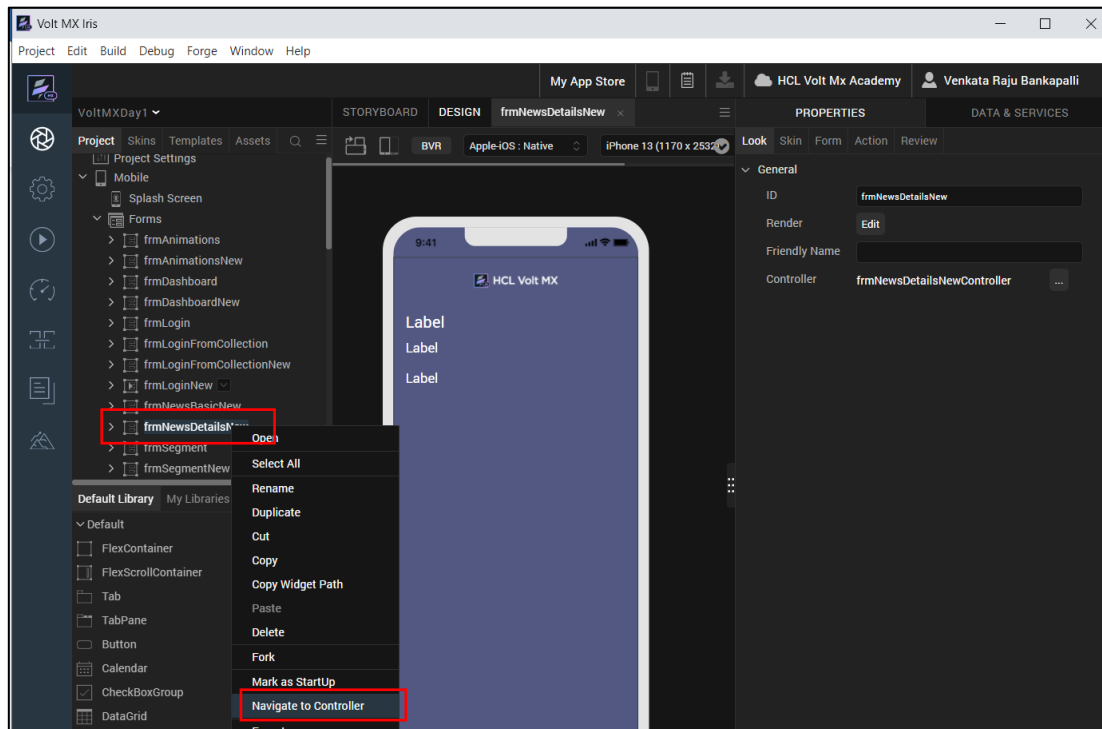




- **Invoke Function** アクションを検索して、それを選択します。
- アクションシーケンスに追加されたアクションが表示されたら、右側のドロップダウンから **showSelectedNewsArticleDetails** という関数を選択します。
- **Save** をクリックし、アクションシーケンスを保存します。

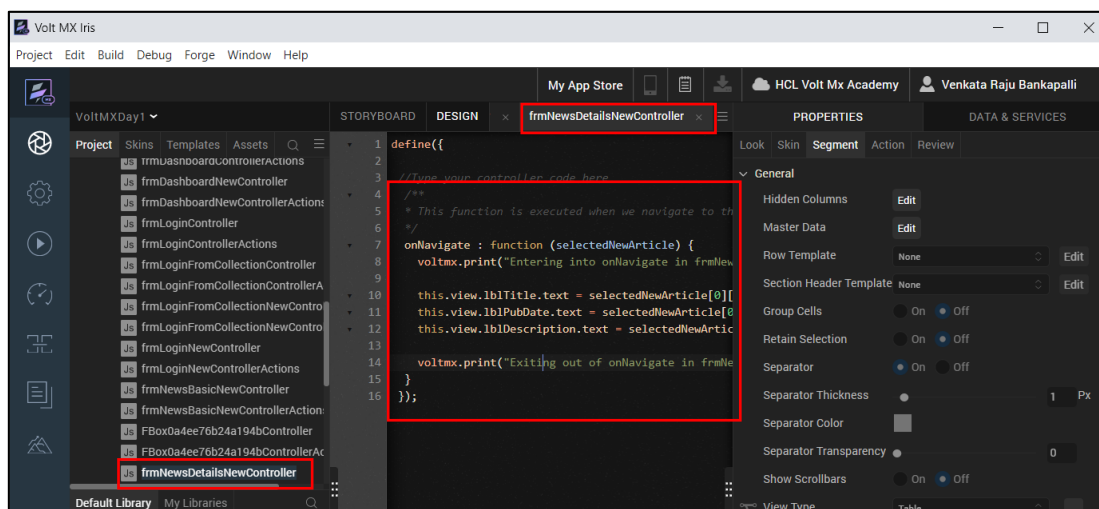


- フォーム **frmNewsDetailsNew** を開きます。
- アウトラインでフォーム **frmNewsDetailsNew** を右クリックし、**Navigate to Controller** オプションをクリックします。このフォームに関連するフォームコントローラが開きます。



- 以下の関数を追加します。この関数は、他のフォームからこのフォームに移動したときに実行されます。

```
/**
 * この関数は、このフォームに移動したとき、フォームが画面に表示される前に実行されます。
 */
onNavigate : function (selectedNewArticle) {
    voltmx.print("Entering into onNavigate in frmNewDetailsController");
    this.view.lblTitle.text = selectedNewArticle[0]['title'];
    this.view.lblPubDate.text = selectedNewArticle[0]['pubDate'];
    this.view.lblDescription.text = selectedNewArticle[0]['description'];
    voltmx.print("Exiting out of onNavigate in frmNewDetailsController");
}
```



- **Build > Run Live Preview** を使ってライブプレビュービルドを生成し、以下のテストを行います。
 - フォームコントローラのコードによる Foundry Integration サービスの呼び出し
 - コードによるフォーム間のナビゲーション

注意事項:

- ライブプレビューの設定で以前選択したチャネル/プラットフォーム/アプリケーションの種類はそのまま残ります。そして、ライブプレビュービルドは、それらの選択されたチャネル/プラットフォーム/アプリケーションの種類に生成されます。
- アダプティブウェブライブプレビュービルドは、お使いのマシンで開く Volt MX アプリのプレビューを使用してテストしてください。
- Wi-fi モードの Volt MX アプリプレビューアプリを使用して、IP アドレスを入力するか、バーコードをスキャンして、ネイティブライブプレビュービルドをテストします。
- スマホが接続されているネットワークが、Volt MX Iris が動作しているマシンのネットワークと通信できる必要があることに注意してください。

おめでとうございます。このレッスンのハンズオンは終了です。